

笠原小学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査結果

鴻巣市教育委員会

1. アンケート調査の概要

(目的)

笠原小学校の児童数の減少により、先を見据えて、将来の子どもたちにとってどのような教育環境が良いのか、現在通っているお子さんの保護者やこれから笠原小へ通う予定のお子さんの保護者の方々が、どのようなお考えをお持ちなのか、どのようなご意見があるのかを伺い、笠原小学校の適正規模・適正配置についての基礎資料とするため。

(1) 配布及び回収期間

平成 28 年 10 月 13 日から 11 月 15 日まで

(2) 配布方法

就学児童・・・笠原小学校を通して
未就学児童・・・郵送

(3) 回収方法

郵送にて回答（無記名）

(4) 対象世帯数、対象児童数

○対象世帯数	91 世帯
○対象児童数	150 名
・笠原小学校児童	98 名
・笠原地域にお住まいの幼稚園児童	23 名
・笠原地域にお住まいの保育所児童	29 名

(5) 回答率 64.8%

配布数 91 通 回答数 59 通

問1 あなたのお子さんは、次のどれに当たりますか。

(単位 人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
家庭で保育	0	1	2	0	0	0	3
幼稚園	0	0	0	5	5	5	15
保育所	0	0	4	2	4	3	13

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
笠原小学校	5	10	9	12	13	11	60

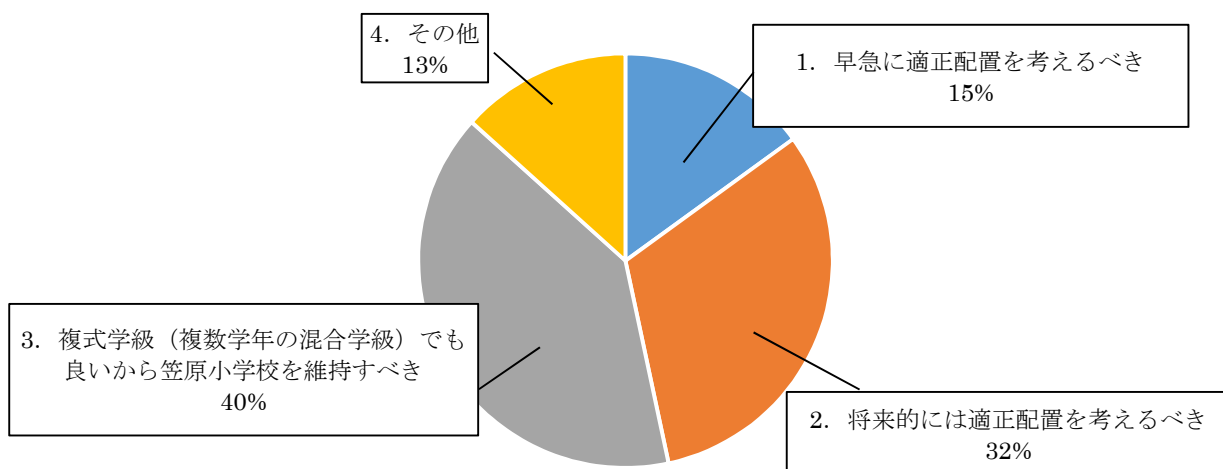
年齢・学年 不明 3

問2 笠原小学校の現状について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

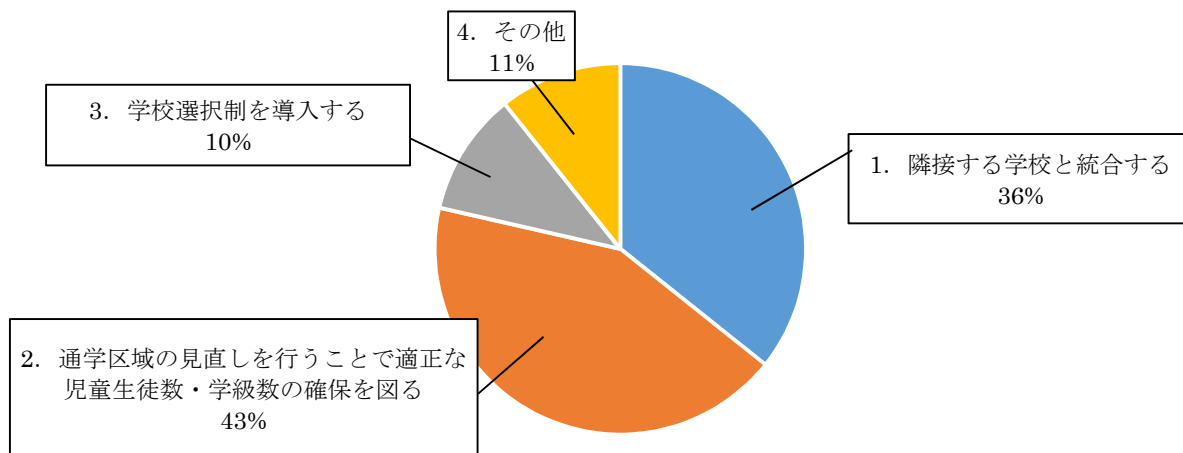
【主な意見】

- ・静かで緑豊かな環境のもと、地域とこれだけ密着、連携が取れている学校は他にはない。学年間の交流も多く、先生方の指導も細かく行き届いており、特に不都合はない。
- ・子どもたち一人ひとり活躍の場が多く、充実した学校生活を送れている。創立140年以上の歴史と伝統のある学校に通えることを嬉しく思っている。人数が少ないという理由だけで統廃合となるのは残念であり、通っている子どもたちのためにならない。
- ・一定の友だちの中で6年間を過ごすため、視野が広がりにくく競争心や向上心が育ちにくいのではないかと心配である。1学年2学級以上あった方が将来的には良いと思う。

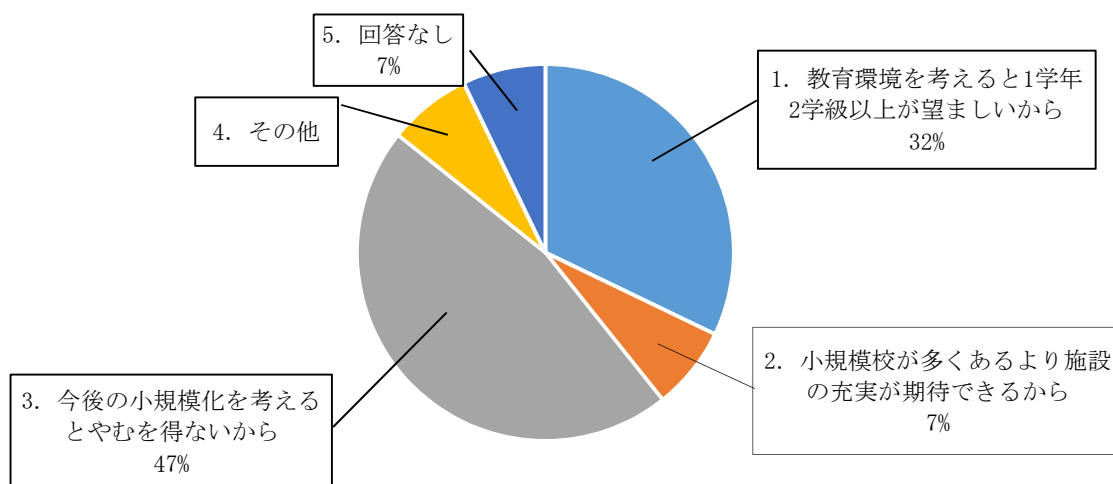
問3 笠原小学校は、平成28年5月1日現在95名です。平成34年度には児童数が60名になると見込まれます。先を見据え、将来を担う子どもたちの教育環境を考えた場合、笠原小学校の適正配置についてどう考えますか。



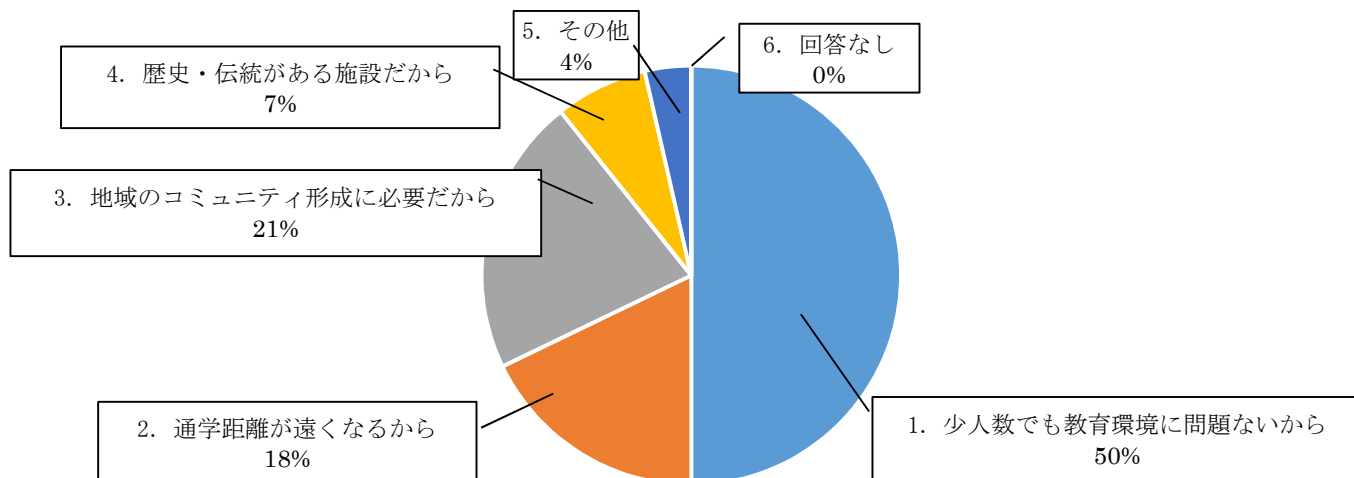
問4 問3で、「1」と「2」とお答えになった方にお聞きします。どのような適正配置の形が良いと思いますか。



問5 問3で、「1」と「2」とお答えになった方にお聞きします。その理由を以下の中から1つ選んで○をつけてください。



問6 問3で、「3」とお答えになった方にお聞きします。その理由を以下の中から1つ選んで○をつけてください。



問7 これまでの質問のほか、笠原小学校の適正規模・適正配置に関して、ご提案やご意見がございましたら、ぜひお聞かせください。

【主な意見】

- ・児童やその保護者を最優先に考えてほしい。少人数ならば少人数なりに良いこともあると思うので、児童も交えて話し合いをしてほしい。
- ・人数が多ければ良い教育環境である、とは思えない。学校を減らすことは簡単だが、どうすれば学校を残せるのか、少人数の学校だからこその特化した学校づくりをするなど、統廃合以外の方法で解決してほしい。
- ・笠原小は笠原地区の大切なシンボルである。140年以上の歴史を守り続けていきたい。調整区域を市街化区域に変更するなど、まずは笠原地区を活性化して、児童数を増やすことを考えてほしい。
- ・小学校だけでなく中学校も含めた通学区域の見直しや、通学方法などの様々な課題を検討したうえでの統合が必要であり、現時点では反対である。
- ・自らの足で学校に通うことに意義があると思う。スクールバスでの通学では、子供たちの健やかな成長の妨げになるのではないか。
- ・子どもたちの将来のためには、ある程度の教育規模が好ましいと考えるが、一方で過疎化が進む笠原地区において小学校がなくなるということは、教育の問題にとどまらず、地域コミュニティの在り方や笠原地区の今後の発展に不安を抱えざるを得ない。
- ・今の子どもたちのことを考えると、統合して無駄な出費を減らし、それを子どもたちのために使ってほしい。笠原小を隣接する学校と統合し、跡地は地域や市民の方々が利用できる施設にするなど、学校自体は残していったら良いと思う。